

腸内フローラ検査 フローラスキャン

男性・女性
共におすすめ

生活習慣病・疾患リスクを確認

普段の食生活は栄養大丈夫？

体の不調は腸内細菌に原因が!?

Flora Scan®

ご自身の健康のために、
腸内環境を調べてみませんか？

腸内フローラタイプ/生活習慣病・疾患との関連性/有用菌などが検査可能。

こんな方には特におすすめです！

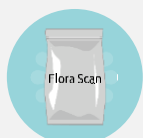
- 便秘・下痢などのおなかの不調が気になる
- おなかが張りやすい
- ダイエットに意欲的な方
- 運動不足な方
- 美容に気を使っている方、効果を高めたい方



検査受検までの流れ



窓口にて
キット購入



キット内容の
確認



採便



ポストへ
投函

測定機関での受取後
約4~6週間



紙またはWebにて
結果報告

紙報告書の場合は
メーカープリメディカから発送

1) 腸内フローラタイプ分類について 菌から推測されるあなたのタイプは??

たんぱく・脂肪タイプ
Type A
動物性たんぱく質と脂肪が多い食事と関連のあるルミノコッカス属が多いタイプです。

たんぱく・脂肪・糖タイプ
Type D
乳酸菌や発酵食品によく見られるビフィドバクテリウム属が平均よりも大幅に多いタイプです。

バランス食タイプ
Type B
低炭水化物、高たんぱく質の食事と関連があるバクテロイデス属と低脂肪食で増加するフィーカリバクテリウム属が多いタイプです。

ヘルシー食タイプ
Type E
食物繊維が多い食事と関連があるプレボテラ属が多く、5タイプの中で最も健康なタイプです。

健康な方が2番目に多いタイプ

健康な方が最も多いタイプ

アンバランス食タイプ
Type C
低炭水化物、高たんぱく質の食事と関連があるバクテロイデス属が多く、低脂肪食で増加するフィーカリバクテリウム属が少ないタイプです。

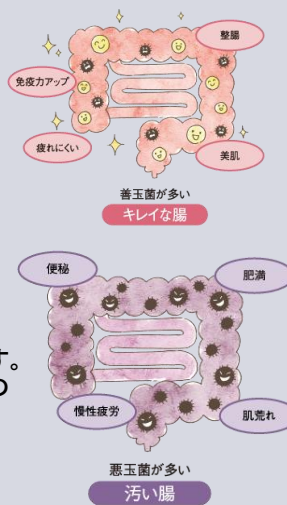
※TypeA~Eは、腸内フローラを分類した際のタイプ名であり、優劣を判定するものではありません。

※食生活やライフスタイルの変化によって、腸内フローラタイプは変動いたします。

2) 生活習慣病/疾患との関連性

- ◆高血圧 ◆高脂血症 ◆高尿酸血症
- ◆糖尿病 ◆心疾患 ◆精神疾患
- ◆肝機能 ◆内分泌疾患
- ◆炎症性腸疾患 (IBD) ◆機能性胃腸症

腸内フローラはさまざまな疾患と関わりがあるとされています。研究データを用いて、あなたの腸内フローラからみた各疾患との関連度レベルを示しています。



3) 注目菌の保有率

様々な研究によりカラダによい働きをする菌、逆に悪い働きを持つ注意すべき菌が明らかになっております。Flora Scan® では良い菌と注意すべき菌の割合を調べ、一般的な平均、健康な方の結果との比較が可能です。

※本検査は、京都府立医科大学、摂南大学、株式会社プリメディカの三者共同研究によって得られた国内有数規模の日本人腸内細菌叢データベースを用いた日本人に特化した腸内フローラ検査サービスです。

受検いただいた方限定！！

**管理栄養士との電話相談・オンライン相談が無料
(栄養指導・おすすめの食習慣・結果説明など)**



検査・結果に関するご質問

提供メーカー 株式会社プリメディカまで

☎:0120-39-5119 (平日10時~18時 ※土日祝除く)

WEB問い合わせ
フォーム



※紙報告書・WEBでの返却もプリメディカが結果発行を行います。

●また、購入後下記期間での採便をお控えください。

- ① 抗生剤服用後 1 か月以内
- ② 前日にお酒をたくさん飲み過ぎた
- ③ バリウム検査後 (2 日経過後を推奨 / 便の色が戻ってから)

